

同時性遠隔転移を有する胃癌に対する

Conversion surgery に関する研究

大阪急性期・総合医療センター 消化器外科（以下、当科）では、「同時性遠隔転移を有する胃癌に対する Conversion surgery に関する研究」という臨床研究を行っています。そのため、当科で胃癌に対する治療を受けた患者さんの診療情報を使用させていただきますので、以下の内容を確認してください。なお、この研究は複数の機関と共同で研究を行い、代表機関である関西労災病院の臨床治験倫理審査委員会にて審査・承認を受け、各機関でも審査・承認後、機関の長による実施の許可を得て行います。

1. 試料・情報の利用目的及び利用方法

【目的】

遠隔転移を有する未治療の切除不能胃癌における¹免疫チェックポイント阻害による²Conversion Surgery への影響を評価することです。

¹免疫チェックポイント阻害：がん細胞を免疫細胞が攻撃をしないようブレーキをかける信号をブロックし防ぐことをいいます。

²Conversion Surgery：コンバージョン手術とは、もともと手術が不能であった状態から、薬物治療などを実施し、根治切除が可能な状態に変化し、治癒を目的として実施する手術のことをいいます。

【利用方法】

電子カルテより情報収集を行い、個人が特定されないように加工された情報が研究代表機関である関西労災病院に集約され、解析を行います。

【研究実施期間】

実施許可日 ～ 西暦 2028 年 12 月 31 日

（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【対象となる情報の取得期間】

西暦 2016 年 01 月 01 日 ～ 西暦 2026 年 11 月 30 日

【対象】

初診時に Stage4 胃癌と診断された患者さん

2. 利用し、又は提供する試料・情報の項目

年齢や性別など胃癌のステージなどの患者さんの背景に関わる因子、抗がん剤治療などの薬物治療の状況に関する因子、手術が行われた場合には手術に関連する因子、切除したものの病理結果に関する因子、患者さんのその後の経過に関する予後的な因子などです。

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

3. 利用又は提供を開始する予定日

西暦 2026年05月01日

4. 試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名

大阪急性期・総合医療センター 嶋津 岳士

5. 提供する試料・情報の取得の方法

診療の過程で得られた診療情報

6. 提供する試料・情報を用いる研究に係る研究責任者（多機関共同研究にあつては、研究代表者）

の氏名及び当該者が所属する研究機関の名称

関西労災病院 消化器外科 杉村啓二郎

7. 利用する者の範囲（研究責任者）（多機関の場合は、全ての研究責任者）

研究機関	診療科／部局	研究責任者名
関西労災病院	消化器外科	杉村啓二郎
大阪大学大学院医学系研究科	消化器外科	黒川幸典
大阪医療センター	外科	竹野 淳
堺市立総合医療センター	胃食道外科	原 尚志
市立豊中病院	消化器外科	新野 直樹
大阪労災病院	消化器外科	赤丸 祐介

8. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

自施設での試料・情報の管理責任を有する者：大阪急性期・総合医療センター 嶋津 岳士

（全体の試料・情報の管理責任を有する者 大阪急性期・総合医療センター 消化器外科 本告 正明）

9. 利用または提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用を停止する

ことができます。停止を求められる場合には下記のお問い合わせ先にご連絡ください。停止の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の停止の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。

10. お問い合わせ先

研究代表者

杉村 啓二郎

関西労災病院 消化器外科

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69

TEL: 06-6416-1221 (代表)

FAX: 06-6419-1870 (代表)

E-mail : sugimura-keijiro@kansaih.johas.go.jp

当センターの研究責任者

研究責任医師 本告 正明

大阪急性期・総合医療センター 消化器外科

〒558-8558 大阪市住吉区万代東 3 丁目 1 - 5 6

TEL:06-6692-1201 (代表) FAX : 06-6606-7032 (外科外来)